

きょうかいがっこうコーナー

2021年10月31日

ねんかんだい しゅじつ  
年間 第31主日

ふくいん マルコ 12. 28b~34

おしらせ:11月7日と11月14日の9時と11時のゴミサの後で七五三のしゆくふくがあります。  
みんなきてね。

そのとき、ひとりのりっぼうがくしゃがすすみでて、イエスにたずねた。「あらゆるおきてのうちで、どれが  
だい<sup>いち</sup> でしょうか。」イエスはおこたえになった。「だい一のおきては、これである。『イスラエルよ、きけ、  
わたしたちのかみであるしゆは、ゆいつのしゆである。こころをつくし、せいしんをつくし、せいしんをつく  
しおもいをつくし、ちからをつくして、あなたのかみであるしゆをあいしなさい。』だい<sup>に</sup>のおきては、こ  
れである。『りんじんをじぶんのようにあいしなさい。』この<sup>ふた</sup>二つのおきてにまさるおきてはほかにない。」  
りっぼうがくしゃはイエスにいった。「せんせい、おっしゃるとおりです。『かみはゆいつである。ほかにほか  
みはない』とおっしゃったのは、ほんとうです。そして『こころをつくし、ちえをつくし、ちからをつくしてか  
みをあいし、またりんじんをじぶんのようにあいする』というのは、どんなやきつくすいけにえよりもすぐ  
れています。」イエスはりっぼうがくしゃがてきせつなこたえをしたのをみて「あなたは、かみのくにからと  
おくない」といわれた。もはや、あえてしつもんするものはなかった。

きょうのふくいんはなんかいにかきいたことがあるとおもいます。イエスさまのじだいにはせ  
いしよがくしゃがみんなにせいしよおしえていました。そのかたがイエスさまのところきてし  
つもんしました。「せんせい、たくさんのおきてのうちでどれかだい<sup>いち</sup> でしょうか。」そのとき  
イエスさまのこたえはこうでした。「二つあります」「だい一はあなたのかみであるしゆをあいし  
なさい。」「だい二のおきては、りんじんをじぶんのようにあいしなさい。」とおこたえになりま  
した。



かんがえてみるとじぶんにとって「りんじん」とはどなたのことでしょうか。ことばからみたら、  
りんじんは、となりのひとのことです、しかしイエスさまはそういういみではないようなかん  
じがします。イスラエルのひとびとにとって「りんじん」はじぶんたちのまわりのひととじぶんた  
ちのくにのひとのことしかかんがえていなかったのもっとひろいみがあると、イエスさま  
がおしえたかった。みんなよくしているサマリヤじんのひとのはなしもありますね、ですから、  
「りんじん」とは、ほかのくにのひとのこともふくまれています。

このひろいせかいにじんるいがせいかつしていますね、そしてわたしたちはまいにちいろん  
なひととであって、かかわっていますね。おもいだしてみましよう。せがたかいひと、ふとって  
いるひと、やせているひと、よくしゃべるひと、むくちなひと、などなどです。わたしたちは、  
であっているひとのなかでくべつしてしまうことはありませんか。じぶんたちとちがうひとを

からかってみたり、むししたり、なかまはずれにしたりしてしまうことはありませんか。イエスさまがおっしゃっていることとはんたいなことをしていませんか。いままでそうだったかもしりませんが、これからはイエスさまがのぞんでおられることをしていきたいものです。まわりのひとのことをしんせつにできるようにやっていきたいですね。かみさまはくべつなく、じぶんもふくめて、このちきゅうのひとびとをあいしておられます。かみさまがだいじにしておられるひとびとをいじめることができますか。きょうのふくいんをゆっくりよんで、いままでどうやってきたのかかんがえて、なにかなおすところがありませんか。またもしだれかにめいわくをかけていたら、ごめんなさいと、いえたら、イエスさまもよろこびます。

## ぬりえ



11月	7日 七五三	7日 七五三	14日七五三	14日七五三
ミサ	9:00	11:00	9:00	11:00
担当地区	垂水	塩屋・明舞北	舞子	垂水北・明舞南

七五三の<sup>しゆくふく</sup>祝福があるので<sup>かなら</sup>必ず<sup>じぶん</sup>自分にあたる<sup>ちやく</sup>地区に<sup>ま</sup>来てくださいね。